



前田司教様 教区への最後のメッセージ 「平和年」に込めた思い

シスター小野島照子

8月末に前田司教様が大阪大司教に着座されるとの報に接し、広島教区では今から…と
思っていましたので、驚きを隠せませんが、あつ
という間に過ぎたこの3年間の広島での司教様
のお働きに感謝し、今年の8・6のミサの中でこの
一年間を「平和年」と宣言され、それが広島教
区への前田司教様が残された最後のメッセー
ジとなりましたが、私たちはその精神を具体的に
生きること、前田司教様への感謝を捧げたい
と思います。

今年8月6日から来年8月6日までの一年間を
広島教区は「平和年」とし、毎月6日を「平和の
日」と宣言。家庭や小教区で、聖書や教会の公
文書や社会教説等を通して、平和を学び、活
動の源泉を深めるように。また各地の平和記念
館や史跡を訪ねて、「過去を振り返ることは、将
来に対する責任を負うこと」（平和アピール
No.3）との聖ヨハネ・パウロ二世教皇の言葉を生
きるために平和の取り組みに生活の中心を置き
ましょう。平和の使徒となる道は、グローバルな
現象とローカルな問題との密接な関係に気付か
せ、キリスト者が具体的現実の前で信仰を証し
するよう招いています。

スタンプラリーによる聖堂訪問も継続して勧
められています。世界平和記念聖堂の献堂60
周年を祝いつつ痛感したのですが、どの聖堂
も、献堂の動機や目的があり、聖堂ツアーは、
ただ建物を訪問することでは足りないでしょう。
訪れる教会がどのような祈りからほとぼり出た
のか、どんな出来事があって、またどんな動機
で皆が祈りの殿堂を切望し聖堂建設に至ったの
か…。各教会の歴史を振り返ることは実に興味
深いことです。どの教会も神様からのインスピ
レーションから生まれ、神様が望まれたからこそ存
在する聖堂を訪れることで、私達は神の業を目
撃し、心が燃やされ、新しい福音宣教に駆り立
てられます。私たちが列福を祈っている津和野
の殉教者達の信仰は、現代社会に生きる私た
ちの信仰告白にどんなチャレンジをしているの
でしょうか？

先輩方に感謝を… 敬老会で80人を祝う



9月14日のミサでは病者の塗油が行われ、ミサ後には75歳以上の方々が祭壇で記念撮影。あの方も、この方も?と疑いたくなるような若々しい方々も混じっておられました。

その後多目的ホールにて祝賀会が行われました。

今年は聖職者を含め、80名の参加者。

75才以上の方が該当です。年々その数が増していくのは、日本の社会傾向をそのまま反映さ

れています。

良き伝統を作って下さった先輩に感謝し、敬意を持って毎年、祝っていきましょう。



追悼ミサをしました

先般、新しい試みとして家庭訪問の案内をしました処、返信葉書の中に「本人は既に帰天しています」との連絡が数通あり、9月19日金曜日10時のミサにて、この方々の追悼を行いました。

何らかの事情で、教会で葬儀をあげられ

なかった方々が居られたことに驚きました。

今回、案内をしたことにより判明したのですが、今後の連絡方法を考えさせられる一件でもありました。

出会い広がった サマーキャンプ。

保護者

YT

サマーキャンプに参

加しました。

雨の心配もあり、たまにばらつくこ

ともありましたが、涼があったと思えば、夏の楽しい思い出となったと思います。

仕事の都合で、初日のみの参加となりましたが、普段あまり交流のない三篠教会の皆様とのサマーキャンプは、私にとっても、子供達にも、出会い、人の輪の広がる素晴らしい機会でした。

YT (小2)

プールに行きました。うきわをつけて、流れるプールで流されました。楽しかったです。

次に三篠教会に行きました。三篠教会でバーベキューしました。肉が一番おいしかったです。

スイカ割りもしました。たたいたけど、かたかったです。次の日はミサがありました。たくさん歌を歌いました。そのあと、玄関の掃



除をしました。掃除を頑張ってやりました。掃除を頑張ったので、アクエリアスを飲みました。幟に帰ってきたら、ながしそうめんをしました。そうめんがおいしかったです。

HN (小6)

小学生

キャンプで一番楽しかったのは、そうめん流しです。理由は、そうめんの後にデザートが流れてきたからです。それと、みんなとしゃべったりしたのも理由の一つです。

三篠教会ではスイカ割りが楽しかったです。私がやったら、すごく目がまわったけど、スイカにバットが当たったからうれしかったです。夜の神父様の話では、神様のことなどいろいろなことがわかってよかったです。バーベキューでは、ポテトとかトマトとかも出てきて楽しかったです。肉などもすごくおいしかったです。1日目はバーベキューから参加したので、プールに行けませんでした。だから少しがっかりしたけど、ほかのイベントがすごく楽しかったので、全部よかったです。



シリーズ 至聖なるご聖体(6)

聖体授与の臨時の奉仕者 HT

第6回目は、前回同様「カトリック新教会法典」から「至聖なる聖体」に関する紹介です。なお、文書の自己解釈は誤用につながりますのでご注意ください。

第898条 キリスト信者は、至聖なる聖体に対して最大の尊敬を払い、このいとも崇高な聖体祭儀の挙式に積極的に参加し、深い敬虔をもってこの秘跡をしばしば拝領し、至上の礼拝をもってこれを崇敬しなければならない。司牧者は、信者に対してこの秘跡の教理を解き明かし、この義務について熱心に教えなければならない。

「最大の尊敬を払う」ことに私たち聖体授与の臨時の奉仕者は注意しています。聖体に対し自分が持っている相手を最大限尊敬していることをあらかず態度で臨みます。なぜなら、聖体はキリストご自身だからです。教会の中では、祭壇、聖書、十字架や司教座など大事な場所やものがありますが、その中で一番大事なものはキリストご自身です。そのキリストご自身は聖体のかたちで現存します。しばしば、聖体に対する表敬と他のもの（例えば、十字架やマリア像など）に対する表敬が逆転している人を見かけます。神様（至聖なる聖体）を前にして最大限尊敬している表現をしてみませんか？



編集後記

残暑があったのか。と
いうくらい、あっという間に
秋になってしまいました。
そして、広島土砂災害からも
う1ヶ月以上、経ちました。
土砂も大分取り除く事が
できたみたいですが、まだまだ
復興には時間がかかりそう
です。教会学校の子供達は募
金活動を行うそうですが、私
も何か出来ることをしたい
と思います。(さ)